

10年ビジョン

1stステージ
(2011～2014年度)

アクションプラン

Action plan

～ Flag management ～

小松市 総合政策部

産業高度化10%UP

→ 付加価値を示すGDP
5,300億円へ(2020年度)

2007年度 GDP

4,800億円

2007年度

農林水産業
食品加工業

70億円

2次産業
(食品加工を除く)

1,900億円

3次産業

2,800億円

6次産業化で
付加価値アップ

- 環境王国でブランド力アップ
(農産物、木材、水産物を6次産業化)
- 新商品開発促進、里山から食を発信
(規格外品による新商品、新加工による6次産業化など)

競争力アップと
新産業創出

- 技術力・価格力・提案力を向上
(産学官共同研究、異業種交流拡大など)
- バランスのとれた企業誘致
(物流や成長産業、本社機能誘致など)
- 新分野進出支援(医療・健康・環境など)
- 就労環境を整備(女性・シニア)

成長を支える
プラットフォームづくり

- ものづくりを支える人材育成の格段の向上
(理科・科学大好き青少年育成、高等教育機関充実)
- 総合的な産業支援機能強化(産業振興センター設置など)
- 産業基盤を整備
(物流網整備、国際貨物便拡充、新産業ゾーン調査研究、
2013年全国産業観光フォーラム開催)

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度

100

120

160

200

1,920

1,950

1,970

2,000

2,850

2,870

2,880

2,900

合計

4,870

4,940

5,010

5,100

(単位 億円)

2020年度 GDP

5,300億円



多文化共生チャレンジ5000

→ 3ヶ月以上滞在する外国人
5,000人へ(2020年度)

2009年度
外国人登録者数

1,898人
(5月1日現在)

2009年度
外国人宿泊者数

1,604人
(1月～12月)

2010年度

外国人
登録者数

1,691人
(5月1日現在)

外国人
宿泊者数

2,662人
(1月～12月)

ロングステイ

- 海外とのビジネス交流拡大で滞在増(Job)
- 教育の国際化で留学生増(Education)

多文化共生の
まちづくり

- 多文化共生推進プランや災害時支援マニュアルを策定
- 学校・地域施設での交流機会を拡大
- 多言語サイン整備やICTを活用した案内情報充実

ショートステイ

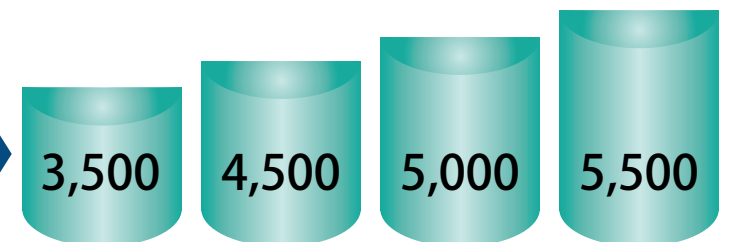
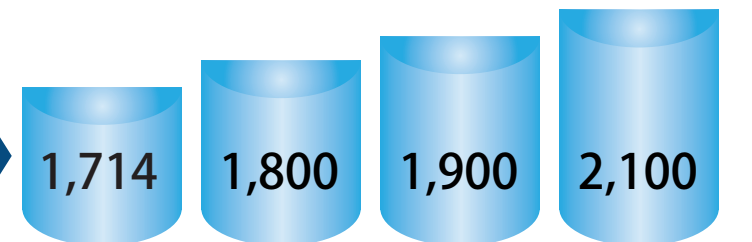
海外誘客

- ビジネスでの滞在
(研修旅行, 技術交流など)
- 観光での滞在
(歌舞伎のまち, 里山里湖など)
- 文化・スポーツでの滞在
(宮本三郎デッサン大賞展, スポーツ大会など)
- 小松空港の国際化推進

国際交流を
拡大

- 姉妹都市・友好交流都市の交流拡大
- 歌舞伎などこまつブランドを国際展開
(子供歌舞伎海外公演など)
- 国際学習を拡充
(青少年国際交流, 海外留学支援など)

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度



(単位 人)

2020年度
外国人登録者数

5,000人



将来負担軽減△200億円

市債残高
1,234億円へ圧縮(2020年度)

2009年度 全会計市債残高

1,434億円

2010年度

一般会計 713億円

水道事業会計 58億円

公共下水道
事業会計 513億円

病院事業会計 62億円

特別会計 69億円

合計

1,415億円

対前年度

△19億円

固定費を圧縮
将来負担を軽減

共通で
取り組む

- 職員定数の適正管理、低利債への借換え、行政コスト見直しを徹底して実施
- 市債発行額を抑制するとともに、繰上償還を随時実施
- 民間の経営感覚で仕事を改革(スピード・コスト・満足度)

公共下水道事業で
取り組む

- 接続率の向上策を展開し、収益の安定確保
- 徹底した経営感覚や不明水分析などによる行政コスト見直し

病院事業で
取り組む

- 病床利用率の向上などにより収益を増加
- 7:1看護体制などで療養環境を向上
- 救急センター増築による救命率向上

特別会計で
取り組む

- 農業集落排水などの料金体系見直し
- 工業団地における分譲販売促進など

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度

704

700

690

679

54

50

46

43

510

507

503

500

60

58

57

50

66

65

64

62

合計

1,394

1,380

1,360

1,334

対2009年度

△40

△54

△74

△100

(単位 億円)

2020年度 全会計市債残高

1,234億円

(対2009年度 △200億円)



ようこそ小松プラス2020

こまつへの転入者
5,000人へ(2020年度)

2009年度 転入者数

2,809人
(1月～12月)

2010年度

転入者数 **2,572人**
(1月～12月)

**たくましい産業
(Job)**

- バランスのとれた企業誘致
(物流や成長産業、本社機能誘致など)
- 産業基盤を整備
(物流網整備、国際貨物便拡充、新産業ゾーン調査研究、
2013年全国産業観光フォーラム開催)
- 産業高度化と新産業創出(6次産業化、付加価値アップ)

**教育改革
(Education)**

- 幼児期から地域独自の特色ある教育を実施、
教育環境を向上
- 理科・科学大好き青少年を育成
- 市立高校の改革と活性化
- 高等教育機関を充実
(インダストリアル系、メディカル系、インターナショナル系など)

**ここちよいまちづくり
(Life)**

- キープ子宝15%に向けた取り組みを実施
- 元気シニアづくり(仕事や社会貢献、趣味活動)
- 安全・安心なまちづくり(安心の防犯・防災体制)
- 安心の医療と健康づくり(救急&高度医療、いきいき健康づくり)
- 就労支援を充実(障がいのある方)(女性とシニア)

**おもしろいまちづくり
(Fantastic)**

- 地域資源を活かした交流拡大
- 環境王国こまつのおいしい・あんしんの食ブランドを創出
- 宿泊型観光やコンベンション、合宿を誘致
- 空港・JR駅周辺の交流機能整備で賑わいづくり

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度

2,750

3,000

3,200

3,500

(単位 人)

2020年度 転入者数

5,000人



おもてなしゲット 500万人

交流人口

500万人以上へ(2020年度)

2009年度 交流人口

280万人

2010年度

自然・公園 71万人

歴史・文化 88万人

産業
ものづくり 99万人

スポーツ 18万人

宿泊者 41万人

合計

317万人

自然資源や 景観を活かす

- 里山の特色ある魅力づくり
(2011年里山自然学校こまつ滝ヶ原、2012年大杉みどりの里、日用苔の里など)
- 里湖(木場潟)周辺でのツーリズム拡大
(ウォーキング、フィッシング、カヌー体験など)
- 花や水を活かしたまちづくり
(花の名所づくり、2013年さくらシンポジウム、親水空間づくりなど)
- 修学旅行誘致など学生・生徒・児童の交流拡大

歴史・文化資源 を活かす

- 歴史・文化と伝統で彩るまちづくり(小松駅西側)
- 「歌舞伎のまち」をレベルアップ(2012年曳山常設展示場など)
- 芸術文化を担う人材の育成と発信

産業資源を 活かす

- 科学と交流の新しいゾーンを構築
(小松駅東側、2013年(仮称)科学交流館)
- 航空プラザ魅力アップ(H24.3キッズランドなど)、
伝統工芸ものづくりの魅力発信(九谷焼体験など)
- 乗り物のまちで産業観光誘致
- 環境王国こまつのおいしい食ブランドを創出・発信

スポーツ交流 を拡大

- スポーツ交流大会を積極的に開催
- スポーツ合宿を誘致
- スポーツ施設の機能を拡充
(小松運動公園、2012年スカイパークこまつ翼全面オープンなど)

滞在型観光を 誘致

- 粟津温泉の魅力アップ
- ホテルなど宿泊施設の誘致とコンベンション開催誘致
- 教育旅行を誘致(保育園・幼稚園・小中学校の子どもたちを里山へ)

交通機能の 拡充

- 小松空港の旅客機能充実と空港周辺の賑わい創出
- J R 小松駅のターミナル機能を充実
- バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルなど
交通アクセスを充実

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度

74

77

79

80

93

105

108

110

96

120

140

150

18

20

20

22

44

48

53

58

合計

320

370

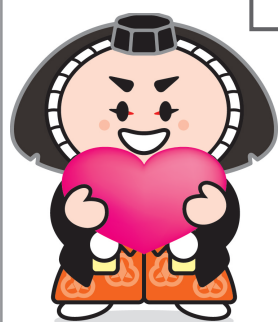
400

420

(単位 万人)

2020年度 交流人口

500 万人以上



キープ子宝15%

→ 15歳未満の人口割合
15%を維持(2020年度)

2009年度
15歳未満の人口

16,029人
(1月1日現在)

影響する主な指標

2010年度

出生数

919人
(1月～12月)

保育園、幼稚園
園児数

4,459人
(5月1日現在)

小中学校
児童生徒数

10,108人
(5月1日現在)

合計

15,486人

生まれ育つ
環境を充実

- 出産・子育ての支援を拡充
(不妊不育治療、妊産婦検診、予防接種、子ども医療費の支援など)
- 地域ぐるみの子育て応援体制づくり
- I C Tを活かした子育て環境整備
(子育て関連W e bサイトの設立など)

楽しく学ぶ保育園
幼稚園づくり

- 工作・観察などの楽しい幼児教育を展開
(わくわくコマツ館や里山などの自然を活かす)
- 絵本を通じた心の教育を充実
(全国でも珍しい「空とこども絵本館」を活かす)
- ふるさとの伝統芸能を体験(カブッキーと一緒に学ぶ)
- おいしい給食で楽しく食育(環境王国こまつの食材を活かす)

世界で活躍する
子どもたちのために

- 理科・科学教育を重点展開
(わくわくコマツ館や(仮称)科学交流館、里山などの自然)
- I C Tや文化などの特色ある教育を実施
(I C T授業やI C T教育、勸進帳実演や九谷焼体験など)
- 国際学習を拡充(青少年国際交流、海外留学支援など)

子どもたちのために
教育環境を向上

- 安心して楽しい教育施設整備
(H24学校耐震化完了やリニューアル、プールや通学路改修など)
- より良い教育環境づくり
(少人数学級の検討、教育相談・発達支援センター活動充実など)

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度

940

940

940

940

4,481

4,500

4,600

4,700

9,938

9,950

10,000

10,050

合計

15,359

15,390

15,540

15,690

(単位 人)

2020年度
15歳未満の人口

16,000人



ごみダイエット50%OFF

可燃ゴミ
16,000 t へ半減(2020年度)

リサイクル率
30%へ倍増(2020年度)

2008年度
可燃ゴミ

32,300 t

2008年度
リサイクル率

17%

2010年度

可燃ゴミ 30,913 t

3Rの展開
Reduce(リデュース:発生抑制)
Reuse(リユース:再使用)
Recycle(リサイクル:再資源化)

- スリーバック運動（紙にバック:古紙類の再資源化増
肩にバック:マイバック持参率100%
土にバック:生ゴミの堆肥化）の展開
- 生ゴミ処理機・コンポスト設置支援による堆肥化
○地域や各種団体によるフリーマーケットや
ガレージ・セールの開催
○ごみ減量化のモデル町内設置と地域における
ごみステーション開設
○廃食用油のディーゼル燃料・石けんへの資源化
○食品ロスの改善と食品リサイクルのシステムづくり
○落ち葉や剪定枝、雑草などの堆肥化に向けた
システムづくり

**再生可能
エネルギーを
活用**

- 太陽光発電システムによる再生可能エネルギー活用拡大
○代替エネルギーを構築
（可能性調査実施、産学官での取り組み強化）
○公共施設での活用
（バイオディーゼル化、LED化など）
○ごみ焼却施設での余熱エネルギーの活用検討
（温浴施設、温室など）

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度

28,000 24,000 23,000 22,000

(単位 t)

(CO2排出量目標は別途)

2020年度
可燃ゴミ

16,000 t

2020年度
リサイクル率

30%



イメージアップ
作戦

経営風土改革

観光戦略
アクションプラン

歌舞伎のまち
プロモーション
プラン

J R小松駅
ターミナルプラン

空港周辺
まちづくりプラン

小松駅東プラン
～科学と交流～

小松駅西プラン
～歴史文化と伝統～

観光戦略
アクションプラン

歌舞伎のまち
プロモーション
プラン

J R小松駅
ターミナルプラン

空港周辺
まちづくりプラン

花と緑のまち
プラン

里山プラン

里山自然学校
プラン (こまつ滝ヶ原、
大杉みどりの里)

環境王国プラン

水郷ニコニコ
ビジョン

森林振興計画

産業振興プラン

食と農業・農村
ビジョン

次世代育成支援
行動計画

教育・保育施設
環境向上計画

市立高校
改革プラン

スポーツ推進計画

地域福祉計画

シニア保健
福祉計画

すこやかこまつ
21

食育推進計画

I C T
利活用計画

地域防災計画

こまつ
環境プラン

多文化共生
推進プラン

男女共同参画
アクションプラン

定住促進
プラン

地域公共交通
総合連携計画

行財政改革
プラン

仕事の改善
プラン
(PDCA、3M、QC)

職員育成計画
(登用試験、専門性、
目標管理)

K E M S 推進
計画
(エネルギー使用量低減など)